

2011年度イビデングループ入社式を挙

イビデン株式会社は、4月1日（金）10時45分から、本社・多目的ホールにおいて、2011年度入社式を行いました。今年度の新入社員数は125名（グループ会社含む）です。



竹中社長挨拶



新入社員による誓いの言葉

【竹中社長挨拶（要旨）】

皆さん入社おめでとうございます。

本日ここに、若いはつらつとした皆さんを仲間としてお迎えすることができ、大変嬉しく思います。

当社は1912年に創業された大変伝統ある企業です。電力会社として発足して以来、電気化学工業、住宅建材、セラミックス、電子と事業を広げ、来年には100周年を迎えます。

この100年の間には、太平洋戦争、オイルショック、バブル崩壊と経済危機や試練がありました。そして、我々の先輩方は、‘苦しい時こそ団結する’という良き伝統のもと、全社員の英知を以ってこれらの困難を乗り越えてきました。3年前のリーマンショックの傷が完全に癒えないうちにこの度の大震災に見舞われ、再び日本経済の先行きが懸念されています。皆さんも、今日からはイビデングループ社員として一日も早く力をつけ、共に難局に立ち向かいましょう。

皆さんの入社式にあたり、私から「3つの心構え」をお話します。今後折々に思い出し、実践してください。

1つ目は、“プロの社会人としてどんなときでも良識ある行動をする”ということです。今回の震災では、東北地方の方々の良識ある行動が世界で絶賛されています。いついかなる時でも、プロの社会人として良識ある行動を心がけてください。

2つ目は、“国際的視野で物事を考える”ということです。今、国際社会は、経済危機、環境問題、人口問題、宗教問題など様々な難問を抱えています。そして、これらの多くの難問の中で私たちは事業を営んでいます。皆さんも国際社会の一員であることを自覚し、国際的な視野で活躍してください。

3つ目は、“会社に貢献する”ということです。イビデングループには約2万人の社員がいます。「大勢の社員がいるから、自分ひとりくらいは手を抜いても大丈夫」と皆さんが思えば、会社はあっという間に傾いてしまいます。一人ひとりが「自分は会社に何を貢献できるか」の気持ちを持ち続ければ、会社はいかなる困難も乗り越え、永続的に発展することが出来ます。

今日から、この「3つの心構え」を皆さんと共有し、さらにすばらしいイビデンにしてください。

これから皆さんが元気に活躍されることを祈念し、私の歓迎の挨拶とします。

以上